

2026
7月

Town くぐの

Vol.255

発行／久々野まちづくり協議会

事務局 久々野多目的センター TEL0577-52-3098 FAX0577-70-8178 高山市久々野町無数河580-1 E-mail machi@kuguno.com



地域の皆さんの笑顔を思い浮かべながら



人の心が明るくなります



「自分たちの地域は自分たちで守る」意識の大切さを学びました

花いっぱい運動 駅前を彩る笑顔の花

6月中旬、久々野駅周辺
美化推進委員会の皆さんに
よって植えられた花々が、
JR久々野駅前を色鮮やかに
彩っています。

駅前のプラランターには、
高山市民憲章推進協議会か
ら提供されたベゴニアやマ

リーゴールドなどの花々が
並び、初夏の日差しを浴び
ながら元気に育っています。
駅を利用する人や地域を訪
れる人たちが足を止めて花
を眺めたり、「きれいやね」
と声を掛け合ったりする姿
も見られ、駅前にはやさし
い雰囲気広がっています。
植栽当日は、委員の皆さん
が古い土と新しい土を丁

寧に混ぜ合わせ、一株一株
に心を込めて苗を植えました。
小さかった花苗も、この
2週間で少しずつ大きくな
り、色鮮やかな花を咲かせ
始めています。その成長の
様子からは、地域の皆さん
の温かな思いが伝わって
くるようです。

この活動は、高山市民憲
章の「たがいに信じ 助け
合い こころの中にもきれ
いな花を咲かせましょう」
という理念を実践する「花
いっぱい運動」の一環とし
て行われています。

花はまちに彩りを添える
だけでなく、人の心も明る
くしてくれます。地域の皆
さんの手で育てられた花々
は、これから久々野駅を
訪れる人々を温かく迎え、
久々野らしいおもてなしの
心を伝えてくれることで
しょう。

第1回防災委員会を 開催しました

久々野まちづくり協議会
では、6月18日(木)に本年度
第1回となる防災委員会を
開催しました。

前半は、高山市民防災研
究会の岩茸伸一さんを講師
にお迎えし、「機能する自主
防災組織づくり」と題した
講演を行いました。

岩茸さんは、「災害を自分
ごととして考えることが大
切」と話され、行政からの指
示を待つだけでなく、自分
で避難の判断をするための
「マイスイッチ」を決めてお
くことや、日ごろから避難
訓練や安否確認訓練を行う
ことが、地域の命を守るこ
とにつながることを説明され
ました。

後半は、岩佐誠まちづく
り協議会長から防災委員の
役割について説明がありま
した。防災委員は、防災活動
の担い手であるだけでなく、
地域の皆さんに防災への関
心を高めてもらうための
「橋渡し役」でもあります。
また、地域の課題を把握し
ながら、顔の見える関係づ
くりを進める大切な役割を
担っています。

令和8年度は、避難行動
の確認や要配慮者への支援
資機材の点検など、それぞ
れの地域の実情に合わせた
「地域防災学習」を重点的に
進めていく予定です。

これからも「自分たちの
地域は自分たちで守る」と
いう意識を地域全体で育み
ながら、安全・安心な久々
野を目指して防災活動を進
めてまいります。

ひまわりの種まき 20年目の宝物

アルコピアマウンテンパーク(旧ひだ舟山スノーリゾートアルコピア)にて、6月3日(水)、久々野保育園の年長さんたちによる「ひまわりの種まき」が行われました。

朝は台風による雨が心配されていましたが、時間が経つにつれてだんだんと晴天に！まるで「ひまわりをたくさん咲かせたい！」という子どもたちの強い願いが届いたかのような、最高の青空が広がりました。

今年でなんと20年目を迎えるこの伝統行事。子どもたちは小さな指でひとつひとつ優しく土に穴をあけ、「おきく、おきく、おきくなあれ！」と、みんなで元氣いっぱいおまじないをかけながら種を植えていました。

種まきができて、「楽しかった！」「うれしかった！」との声が聞かれ、園児たちの愛情をたっぷりもらった種たちが、夏にどんな綺麗な花を咲かせて



心をこめて「おおきくなあれ！」

くれるか、今からとても楽しみです。

また、開催期間中には、ご家族で楽しめるイベントも企画しています。是非たくさんひまわりを見に、ご来園ください。

【開園期間】8月1日(土)～8月16日(日)

9時～16時

※雨天の場合は開園の可能性もあり。

この夏、一面に咲き誇るひまわり畑をぜひお楽しみに！

第52回 町民ソフトボール大会

東海地方が梅雨入りした6月7日(日)、久々野総合運動公園グラウンドで第52回町民ソフトボール大会が開催されました。

参加チームは昨年同様、山梨・橋場・反保の3町内。少し寂しさも感じられましたが、いざ試合が始まると熱戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

ヒットが飛び出せば大きな拍手と歓声が沸き起こり、ミスが出ても「ドンマイ、ドンマイ」「ナイスファイト！」と温かな励ましの声が響きます。勝敗だけでなく、地域の仲間同士が声を掛け合い、支え合う姿が印象的でした。

試合結果は、なんと3チームすべてが1勝1敗。得失点差により、優勝は反保、準優勝は山梨、第3位は橋場となりました。

どのチームも勝利の喜びを味わうことができ、梅雨空を吹き飛ばすような笑顔と笑い声に包まれた、爽やかな一日となりました。

大会運営にご尽力いただいた体育部の皆さん、選手集めや準備にご協力いただいた各町内の体育委員の皆さん、そし

て積極的に参加し大会を盛り上げてくださった選手の皆さん、本当にありがとうございました。お疲れさまでした。



見事優勝に輝いた反保チーム



打撃爆発の準優勝 山梨チーム

河内路改修碑 環境整備作業

6月7日(日)、市の史跡に指定されている河内路改修碑周辺の環境整備が行われました。作業には木賊洞町内会の5世帯7名の皆さんと、まちづくり協議会前会長の中谷芳政さんが参加し、草刈りや清掃に汗を流しました。

この環境整備は、昨年、まちづくり協議会が木賊洞の皆さんに協力を呼び掛けたことをきっかけに始まったものです。木賊洞町内会では、「地域の宝である改修碑を自分たちで守っていこう」と、毎年6月の第1日曜日に実施することを決めました。先人たちの足跡を今に伝える史跡を、自分たちの手で大切に守り続けようとする思いに、地域への深い愛情と誇りが感じられます。



先人の思いを守り、伝える木賊洞の皆さん

作業後には、中谷さんを講師として、河内路の歴史や改修事業の発起人である高山の豪商・二木俊恭の功績について学ぶミニ講習会も開かれました。参加者の皆さんは、険しい道を切り開き地域の発展に尽くした先人たちの志に思いを馳せながら、ふるさとの歴史への理解を深めていました。

河内路改修碑は、国道41号線木賊洞洞門の北約200メートル付近から飛騨川方面を望む場所にあります。また、久々野小学校6年生の地域学習の場としても毎年活用されており、地域の歴史を次の世代へ伝える大切な役割を担っています。

先人たちが切り開いた道の歴史を刻む改修碑。その碑を守る地域の皆さんの姿は、ふるさとを大切に思う心そのものです。その思いはこれからも受け継がれ、河内路の歴史とともに未来へと語り継がれていくことでしょう。

鮎釣り解禁

6月20日(土)、益田川上流漁業協同組合の管内で、待ちに待った鮎釣りが解禁されました。5月と6月の2回にわたり、昨年度より500kgほど多い3,480kgの鮎が放流され、川は今か今かと釣り人を待ち受けます。今年は土曜日の解禁ということもあり、例年以上に多くの釣りファンにお越しいただきました。

解禁当日の飛騨川本流では、夜明けとともに多くの釣り人が川面に竿を連ね、それぞれお気に入りのポイントで鮎との駆け引きを楽しんでいました。「飛騨高山美峰鮎」と名付けられ、ブランド化して初めて迎えるシーズン。放流時期が例年より少し早かったこともあり、解禁日時点ですでに魚体が大きいとのこと。川をのぞき込む釣り人の期待も、鮎の成長に負けないほど大きく膨らんでいるようでした。

なお、網漁の解禁は8月22日(土)です。(一部の河川を除く)



釣り人にとってのお祭りの日です

高山市消防フェスティバル2026 久々野の誇り、県大会へ

6月21日(日)、高山市消防フェスティバル2026がモンデウスパーク駐車場で開催されました。会場では放水体験や消防車の展示などが行われ、多くの家族連れが消防の仕事や消防団活動に親しみました。

この日行われた県消防操法大会予選には、久々野から大西班と上組班が出場。団員たちは仕事を終えた後の限られた時間を使い、仲間と励まし合いながら練習を重ねてきました。本番では大きな掛け声と機敏な動きで、その成果を存分に発揮。操法終了後には、やり切った達成感から笑顔でハイタッチを交わす姿も見られました。

結果は、上組班が優勝、大西班が準優勝。久々野勢が見事に上位を独占しました。慰労会では、仲間への感謝や支えてくれた家族、指導者、地域の皆さんへの思いが語られ、胸を熱くする場面もありました。

地域の安全を守るために技術を磨き続ける消防団員の姿は、私たちの大きな誇りです。そして、その活動を支える多くの人々の応援があつてこそ、その力は受け継がれていきます。若い世代が地域を守る使命を受け継ぎ、力強く成長していることを心強く感じる一日となりました。県大会でも、久々野らしいチームワークで健闘されることを期待しています。



その一歩、その声、その放水に、地域を守る誇りがある

オオキンケイギク防除作業を実施しました

6月18日(木)、㈱長瀬土建様様の呼びかけにより、久々野支所職員の皆さん、㈱MGN様、ひだ桃源郷くぐの観光協会様、久々野まちづくり協議会が協力し、特定外来生物「オオキンケイギク」の防除作業を実施しました。

オオキンケイギクは北アメリカ原産のキク科の多年草で、鮮やかな黄色い花を咲かせます。道路沿いや河川敷などでよく見られますが、繁殖力が非常に強く、在来植物の生育を妨げることから、生態系への悪影響が懸念されています。そのため、外来生物法に基づき、「特定外来生物」に指定されており、栽培・運搬・販売・野外への放出などが原則禁止されています。普段目にする可愛らしい花が特定外来生物であることに驚かされました。



在来植物の生育場所を守ろう

今回の作業は、アルコピア・マウンテンパーク火葬場、旧農業集落排水処理施設周辺、飛騨川河川公園の4か所で行いました。参加者は3班に分かれて作業を行いました。朝方の雨で土が湿っていたため、根まで抜きやすいかと思われましたが、実際には根が深く張っていたり、花だけが取れてしまったりと、その生命力の強さを実感しました。約2時間にわたる作業の結果、現地に群生していたオオキンケイギクはほぼ除去され、回収した320kgは焼却処分されました。

今後も地域の自然環境を守るため、特定外来生物の防除活動に取り組んでまいります。

今後のイベント・行事

★夏の声かけ運動

7月2日(木)JR久々野駅他

★ノルディックウォーキング

7月4日(土) 9:00～11:30
あららぎ湖畔

★SDG's講演会

7月9日(木) 10:00～11:30
久々野公民館ホール
講師:長野 麻子氏

★ハローワーク巡回職業相談

7月10日(金) 13:00～15:00
虹流館くぐの
求人情報等提供 就職に
関する相談

★夏の交通安全県民運動

7月11日(土)～7月20日(月祝)

★愛岐棍棒飛ばし選手権2026

7月18日(土) 11:00～
(雨天の場合7月25日(土)に
延期)
あららぎ公園

★小学校・中学校夏季休業

7月21日(火)～8月24日(月)

★なんせい・くぐの夏の 交流会

6年生:7月28日(火)～29日(水)
5年生:7月29日(水)～30日(木)

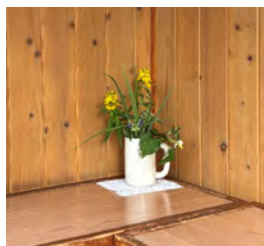
★夏休み子ども&地域食堂

- ① 7月31日(金)
久々野小学校
 - ② 8月19日(水)
久々野公民館
- 両日ともに11:30～13:00
※詳細は後日配布のチラシ
をご覧ください。

★アルコピアひまわり園開催

8月1(土)～8月16日(日)

イベントが変更になる場合
があります。



改めて、支えてくださる皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。



美しい涼を体験しませんか？

エコキャップ回収のご報告

4月11日のリサイクル資源回収で、地域の皆さんに集めていただいたエコキャップを業者へ引き渡しました。
集まったキャップは、45Lごみ袋18袋分！
業者で処理していただいた結果、エコキャップ65600個(164kg)
・ポリオワクチン約41人分
・CO₂削減約520kg



ご協力ありがとうございました

このCO₂削減量は、
◇約35000～40000km分の自動車走行削減
◇一般家庭約3～4カ月分の電気使用量削減に相当するそうです。
地域の皆さんのお力の大きさを改めて感じました。長い間、ご協力いただき本当にありがとうございました。
なお、以前にもお伝えしましたが、市内ではエコキャップを取り扱う業者がなくなります。今後は、プラスチックごみとして収集日にお出しください。

お知らせ

町民登山のご案内

飛騨の涼を訪ねて、マインスイオンあふれる滝めぐりへ

今年も町民登山を開催します！
令和8年度の行き先は「小坂の滝めぐり」。

清流と滝が織りなす絶景の滝めぐり。

中を歩きながら、飛騨の豊かな自然を満喫しませんか。

◆日時…令和8年7月19日

(日)※小雨決行

◆集合場所…久々野公民館北西側(公園側・線路寄り)

◆参加費…大人 2,000円、小・中学生 1,000円/ひとり

※昼食、飲み物等は各自ご持参ください。

◆参加資格…久々野町在住の方

◆募集人数…先着30名

◆申込方法…先着30名

協議会のSNSに掲載されている申込フォームからお申し込みください。お電話でのお申し込みも受け付けています。

◆その他…登山終了後は「ひめしゃがの湯」をご利用いただけます。

※入浴料は別途必要です。皆さまのご参加をお待ちしております！

くぐの散歩道

待合室の花

先日、久々野駅に隣接した待合室に立ち寄ったときのことです。小さな無人駅の待合室の片隅に、花が飾られていました。何気ない光景ですが、その花を見た瞬間、心がふと和らぎました。毎日どれほどの人が利用するのかわかりません。それでも、「利用する人に気持ちよく過ごしてほしい」と思い、花を生けてくださっている方がいらっしゃるのです。

駅の周辺や施設は、地域の方々が日頃からきれいに管理してくださっています。駅のトイレに入ると、夕方とは思えないほど爽やかで清潔な空気が広がります。丁寧に手入れされていることが伝わってきます。

花を飾ることも、掃除をすることも、決して目立つことではありません。しかし、そうした小さな心配りが訪れる人の気持ちを和ませ、地域への愛着につながっているのだと思います。

改めて、支えてくださる皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。